

ときどき床で大発生 カツオブシムシのなかま

東京の
生活害虫

3



●ヒメカツオブシムシ成虫と幼虫(体長は成虫4mm、幼虫9mm)



●ハラジロカツオブシムシ
(体長7~8mm)

●コルクに穴をあける
ハラジロカツオブシムシ幼虫



●カドマルカツオブシムシ成虫と幼虫(体長は成虫7mm、幼虫10mm)



●ペットフードに発生した幼虫

カツオブシムシのなかまには、毛織物などに被害を与える種類があります。重要な種類はヒメカツオブシムシ、ハラジロカツオブシムシ、トビカツオブシムシ、カドマルカツオブシムシなどです。

形態と被害

成虫の体長は種類により異なり、およそ3mmから10mmくらいです。黒い色をした種類が多くみられます。

幼虫は大きい場合は体長10mmをこえ、茶色か黒で、剛毛をもちます。一般に動きは活発です。

成虫・幼虫ともに乾燥した動物質を好み、毛織物、ジュタン、毛皮、毛糸、羽毛、干魚、かつお節、ペットフード、動物標本などが被害を受けます。

学校や体育館など、板敷きの床に幼虫が大量に発生することがありますが、これは板の間につまったゴミが幼虫の餌になるためです。なお、ハラジロカツオブシムシなどは成熟幼虫*が木材に穴をあけることがあります。

防除

発生源となった品物を探して処分します。床で大発生した場合は目地などのゴミを取り除き、殺虫剤で処理します。発生源が不明な場合、ジュタンの裏や鳥カゴなども調べてみてください。

* サナギになる直前の幼虫

